

一般的な喪主の挨拶

遺族を代表いたしまして、ひとことご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多用にもかかわらず、ご会葬を賜り誠にありがとうございました。

お陰様をもちまして、葬儀も滞りなく済ませることができました。

生前はひとかたならぬご厚誼にあずかり、さらに最後のお見送りまでいただきまして、故人もさぞ感謝いたしていること存じます。

なお、残されました遺族親族（長男・二男など）に対しまして、今後とも亡き〇〇の生前と同様にご指導を賜りますようお願い申し上げます、お礼のご挨拶とさせていただきます。

喪主が妻の場合

遺族を代表いたしまして、皆さまにひとことご挨拶を申し上げます。

私は、妻〇〇でございます。

〇〇は、〇〇歳でございました。これから人生の華を迎えるという時期に、不運にも〇〇の病に倒れ、短い一生を閉じることとなりました。

短い間ではございましたが、〇〇は良き夫・父として私たち家族とともに過ごしてくれました。これからは、〇〇との思い出を胸に、残された家族で支え合い生きて生きたいと思えます。

故人の生前と同様に、皆さまのお力添えをいただければ幸いに存じます。

本日は、会社の皆さま、ご友人の皆さま、お忙しい中ご会葬をいただきまして、本当にありがとうございました。

喪主が夫の場合

遺族を代表いたしまして、皆さまにひとことご挨拶を申し上げます。

私は、夫〇〇でございます。

〇〇は、〇〇年間の結婚生活の間、本当に私のために良く尽くしてくれました。家庭をしっかりと守り、良き妻・母として家族の中心的存在でした。我が家にとって太陽のような存在を失った今、どれほど私たちが彼女のお陰で幸せな日々を過ごすことができたかをつくづく実感しております。

未だに〇〇が亡くなったという事実を受け入れることができませんが、これからは、遠く彼の地から私たち家族を見守ってくれていると信じて生きてまいります。

本日は、お友達の皆さま、ご近所の皆さま、お忙しい中、ご会葬をいただきまして、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

喪主が子の場合

遺族を代表いたしまして、皆さまにひとことご挨拶を申し上げます。

私は、長男〇〇でございます。

本日は、ご多用にもかかわらず、ご会葬を賜り誠にありがとうございました。

父は、仕事中心の生活で家族と一緒に過ごす時間は少なかったですが、私たちの誕生日には必ずプレゼントやメッセージを贈ってくれるような心の温かい人でした。また、さりげない父からのアドバイスで、心強く励まされたこともありました。

家庭の外での父の様子は分かりませんでしたが、本日このように多くの方々が父とのお別れにお集まりいただきましたことで、父を少し理解できたような気がいたします。

父に対してお寄せいただきました皆さまのご厚情に、心よりお礼を申し上げます。

今後とも父の生前同様にご厚誼・ご指導を賜りたく存じます。

本日は、誠にありがとうございました。

故人が長期療養の後、亡くなった場合

遺族を代表いたしまして、皆さまにひとことご挨拶を申し上げます。

私は、長男〇〇でございます。

本日は、ご多用にもかかわらず、ご会葬を賜り誠にありがとうございました。

父は、長年、病の床に臥しておりました。その間、皆さまのお励ましやお見舞いを賜り、本当に喜んでおりました。しかしながら、再び元気な姿で皆さまのお目に掛かることができず、〇月〇日に永眠いたしました。

家族が見守る中、苦しみから開放され、安らかに眠るような最期でした。

あらためて、父の生前にいただきました皆さまのご厚誼にお礼申し上げますとともに、父に代わりまして皆さまのご健康とお幸せをお祈り申し上げます。

本日は、ありがとうございました。

故人が突然亡くなった場合

遺族を代表いたしまして、皆さまにひとことご挨拶を申し上げます。

私は、妻〇〇でございます。

本日は、ご多用にもかかわらず、ご会葬を賜り誠にありがとうございました。

〇〇は、突然の事故であっけなくこの世を去ってしまいました。〇〇歳でした。

家族が病院に駆けつけた時には、すでに戻らぬ人となっております。最後の別れの言葉すら交わすこともできず、家族としては本当に心残りでございます。

〇〇も不本意な最期ではあったと思いますが、日々を全力で生き、また皆さまのような良き上司・先輩・友人に囲まれ、幸せだったことと信じております。

今後とも、故人の生前と同様に残されました私ども家族にもご厚誼を賜りますようお願いいたします。

本日は、ありがとうございました。

故人が店主・経営者だった場合

皆さま、本日は〇〇会社・代表取締役・故〇〇の葬儀にご参列を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、父〇〇が死去いたしましてから、関係各社および近隣の皆さまには、ひとかたならぬお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

また、生前故人にお寄せいただきましたご厚誼に対しましても、故人になりかわり心よりお礼を申し上げます。

残されました家族・社員一同、父の教えを守り、より一層の努力を重ね精進してまいります。どうか、故人の生前に増した格別のご指導・ご鞭撻を心より申し上げる次第でございます。

簡単ではございますが、心からの謝意を込めてお礼のご挨拶とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

親族代表の挨拶

遺族ならびに親族を代表いたしまして、皆さまにひとことご挨拶を申し上げます。

本日はご多用にもかかわらず、故〇〇〇〇の葬儀にご会葬くださりまして、厚くお礼申し上げます。故人もさぞ感謝していることと思います。

また生前中は、皆さまにひとかたならぬお世話になりながら、そのご恩返しもできないまま、この日を迎えたことは、故人にとりまして誠に残念であったことと思います。

なお残されました家族に対しましても、今後とも生前と変わりなきご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

本日は、誠にありがとうございました。

葬儀委員長の挨拶

ご遺族・ご親族の皆さまに代わりまして、私〇〇が葬儀委員長として皆さまにひと言ご挨拶申し上げます。

本日はご多用にもかかわらず、〇〇会社・代表取締役・故〇〇〇〇の葬儀にご会葬を賜り厚くお礼申し上げます。

〇〇〇〇は、創業以来〇〇年にわたり、一代でここまで発展させた起業家でありました。その〇〇〇〇は、かねてより病院で療養中でございましたが、〇月〇日〇時〇分に家族に看取られ安らかに永眠いたしました。

私ども〇〇会社・役員・社員一同、故〇〇社長の遺志を受け継ぎ、さらなる努力をして弊社の発展に努める覚悟でございます。どうぞよろしく願いいたします。

最後に、ご遺族・ご親族の皆さまに対しましても、これまで故人に賜りましたと同様のご厚誼をお願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございました。

精進落としの喪主の挨拶

皆さま、本日は誠にありがとうございました。お陰さまで、葬儀を無事に終えることができました。これもひとえに皆さまのご厚意とあたたかいお力添えのお陰でございます。

誠にささやかではございますが、皆さまへの感謝と慰労の思いを込めまして、食事の席をご用意いたしました。故人の思い出話などをしながら、ゆっくりとお過ごしいただきたいと存じます。

本日は、ありがとうございました。